

ブログの内容に基づき生育する Blog フラワーの提案

小笠原直人 佐々木静香 佐藤究 布川博士

岩手県立大学 ソフトウェア情報学部

1. はじめに

ブログにおいて、いかに記事を更新するモチベーションを維持するか、いかに読者を獲得するかは重要な課題である。本研究では、ブログのエントリの文章量、使われている形容詞に基づき生育する Blog フラワーを提案する。Blog フラワーでは、記事を更新する毎に、内容に応じた花が咲き、Blog 内に表示される、これにより、作成者は自分の Blog という花壇を作るというモチベーションを得ることができ、読者は、どのような花壇になっているか、どのような花が咲いているかを見ることにより、一目でどのような傾向のエントリが書かれているのか、どの程度更新しているのかを直感的に知ることが出来、楽しく閲覧することが可能になる。

2. Blog フラワー

Blog フラワーでは、ブログを1エントリ書く毎に花が一株咲き、ブログの常に表示されるヘッダーの部分に花が並んでいく。花一株に咲く花の個数は、エントリに含まれている形容詞の数によって定める。一輪毎の花の色は、形容詞が次節で述べる6種類に分類した感情のどれに属しているかによって定める。また、一株の花の丈の長さは、エントリに含まれる単語の量によって定める。

ブログを更新したことにより生育した花は、ブログの常に表示されるヘッダーの部分に配置をする(図1)。例としてあげた図1では、一株しか花を配置していないが、実際は過去一ヶ月分のエントリの数だけと言ったように、一定期間以内に生育した花を並べていくことを想定している。これにより、一ヶ月でどのくらいの頻度、ブログを書いてきたのか直感的に知ることが出来ると考えている。具体的な Blog エントリに基づく Blog フラワーの生育方法について次章以降で述べる。

3. 形容詞に基づく花の生育(咲く花の決定)

3.1 形容詞の抽出

Proposal of "Blog flower" that grows based on the contents of Blog

N. Ogasawara, S. Sasaki, K. Sato, H. Nunokawa
Faculty of Software and Information Science, Iwate
Prefectural University

Blog フラワーでは、一株の花に咲く花の数と色を決定するためにエントリに含まれる形容詞を活用する。形容詞は、エントリの本文中から Java 製形態素解析エンジン Igo[1]を用いて抽出した。

3.2 形容詞と咲く花の個数の対応

エントリに含まれる形容詞と一株の花に咲く花の個数との対応を決定するために、一般的にブログのエントリ内で使用されている形容詞の数を調査した。アメーバブログ[2]から適当に26名、1人10エントリずつ、合計260エントリのブログを抜粋した。260エントリ全ての本文を形態素解析し、形容詞を抽出した結果、1エントリ中の形容詞の平均使用数は1.9個という結果となった。これをもとに、形容詞一つに対し一輪の花を咲かせる。一株の花には平均二輪程度の花が咲くことになり、妥当な数であると判断した。

3.3 形容詞の分類

人間の感情は、「喜怒哀楽」という4つの分類が代表的であるが、Blog フラワーでは喜怒哀楽の他に、「愛」「憎」という二つの感情を加えた、「喜怒哀楽愛憎」の六情[3]の分類を採用する。Igo で用いている IPA 辞書に含まれる形容詞のうち主なものと判断した530個を、筆者らの主観で六情に分類をした。結果、それぞれの感情に分類された形容詞の個数は、喜112個、怒103個、哀173個、楽17個、愛80個、憎45個となった。分類した六情それぞれの数、及び形容詞の例を表1に示す。



図1:「楽しかった」という内容を表す花

喜(112個)	怒(103個)	哀(173個)	楽(17個)	愛(80個)	憎(45個)
あかるい	あつかましい	いそがしい	おもしろい	あいくるしい	いやらしい
はやい	いらだしい	きつい	くすぐったい	かわいい	きたならしい
みやすい	じれったい	だるい	たのしい	たのましい	にくたらしい
めでたい	ややこしい	よわい	にぎわしい	やわらかい	醜い

表 1: 六情それぞれの数及び形容詞の例

感情	喜	怒	哀	楽	愛	憎
色	オレンジ	赤	青	黄	ピンク	灰色

表 2: 六情に対応させた色

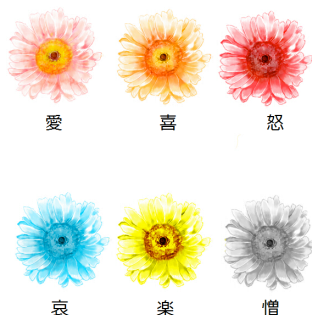


図 2: 六情に対応させた色

3.4 抽出された形容詞と本文との比較

分類の妥当性を検証するために、比較実験を行った。アメーバブログから適当に一般人 15 名のブログを選択し、それぞれから 10 エントリを抜粋した合計 150 エントリを実験対象とした。先ほど述べた形容詞の分類を利用し、エントリの内容と、抽出された形容詞に対応する六種類の感情とを比較し、どの程度一致しているかで評価を行った。一致しているかどうかは、著者の主観的判断で行った。結果、150 エントリ中、形容詞が入っていないブログ 47 エントリを引いた 103 エントリについて、感情とエントリの内容が一致していたのは 82 エントリだった。全体適合率は約 79.61%となり、エントリを読んで感じる感情を、6 種類に分類することが出来ると判断した。

3.5 花びらの色

六つの感情それぞれに対応した花の色を決定した。指定した色と六情の感情との対応表を表 2、実際に咲く花を図 2 に示す。

4. 文章量に基づく花の生育 (丈の長さの決定)

花の丈の長さは、文章の量と対応させる。文

凄く少ない 0~100文字	少ない 101~200文字	普通 201~300文字	多い 301~400文字	凄く多い 401文字以上

表 3: 文章量と丈の長さ



図 3: エントリに基づき生育した花

章が多ければ多いほど丈が長く、少なければ少ないほど丈は短くなる。文章量と丈の長さを対応させたものを表 3 に示す。

5. 表示される花

花の絵はペイントツール sai[4]で作成した部品の画像を合成したものを表示する。花の例を図 3 に示す。左図は形容詞「楽」一つと「哀」一つ、文章量は少ない花を示している。右図は形容詞「喜」三つ「愛」一つ、文章量が多い花を示している。

6. まとめと今後の課題

本研究では、ブログエントリから形容詞と文章量を抽出し、それに対応した花を咲かせ、一定期間内に生育した花をブログのヘッダーに、エントリの数だけ花を並べていくシステムを提案した。今後の課題として、形容詞と文章量の他にも花の表現に使用出来るものを検討していく。また本システムの評価実験を行っていく。

参考文献

- 1) Igo, <http://igo.sourceforge.jp/>
- 2) アメーバブログ, サイバーエージェント, <http://ameblo.jp/>
- 3) 六情 Wikipedia, <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%84%9F%E6%83%85>
- 4) Sai, SYSTEMAX, <http://www.systemax.jp/ja/sai/>
- 5) 石川, 木村, BLOGのトラックバック構造における話題の可視化, 電子情報通信学会総合大会講演論文集 2006年_情報・システム(1), 30, 2006-03-08